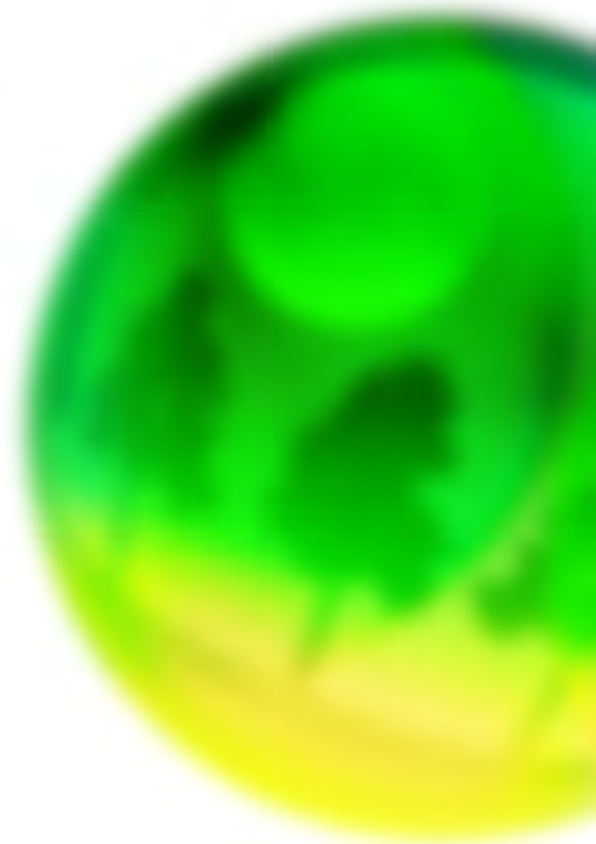


# **ANNUAL REPORT**

---

## **2020.4 - 2021.3**



# JUON NETWORKの創立

## 「阪神淡路大震災」・「木と森への感謝」・「ボランティア元年」

### 1998年4月に設立

JUON NETWORKは、大学生協と「人・自然・環境」に心を馳せる者たちによるネットワークから生まれました。

### 阪神淡路大震災

1995年に発生した阪神淡路大震災の際に、大学生協では兵庫に約240室の「仮設学生寮」を建設し、2年間運営しました。その学生寮の一部は、「間伐材」を使用したミニハウスでした。これは徳島県三好郡（当時）の行政や林業関係者から提供いただいたものであり、芦屋のテニスコートの上にカラフルな58棟の「村」が出現しました。

### 木と森への感謝

このミニハウス建設を契機に、大学生協と三好の方たちとの交流が始まり、それを通じて、木材が売れないために、森林の手入れが進まず、森林が荒廃の危機にあることを知ったのです。

同時に、森林には水源の涵養・災害防止・二酸化炭素の吸収など私たちの生活に密着した多面的機能があることも知りました。

### ボランティア元年

阪神淡路大震災の際には、全国から学生をはじめとして多数のボランティアが駆けつけました。後に「ボランティア元年」と位置づけられる由縁です。この機運は一時的なものに留まらず、1998年施行の「特定非営利活動促進法」（NPO法）につながりました。

JUON NETWORKも、大学生協関係者と廃校を利用した施設運営推進者（埼玉神泉村・新潟佐渡・富山利賀村）、そして震災でつながった神戸・徳島三好の、志を同じくする者が、「協同」「共助」の社会を目指すことも目的に設立しました。



間伐材製ミニハウス



佐渡の鳥越文庫



設立総会（1998年徳島・池田町）

### JUON NETWORKの名称の由来

最後の棟梁と称された宮大工の故西岡常一さんの著書にある

「今になって、緑や、自然やゆうても・・・と。ところが、このことにお釈迦様は気がついておられた。『樹恩』ということを説いておられるんですよ、ずっと大昔に。それは木がなければ人間は滅びてしまう。」

という文章から、『樹恩』（じゅおん）の語をいただき、また、都市と農山漁村の人々をネットワークで結んでいくとの意志を込めて、「JUON NETWORK」（樹恩ネットワーク）と命名しました。

### SDGs と JUON NETWORK

JUON NETWORKの活動は、特に目標15「陸の豊かさを守ろう」に直結していますが、その他にも、森林の楽校・田畑の楽校・樹恩割り箸などの活動が、目標8「働きがいも経済成長も」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標12「つくる責任つかう責任」、の目標にも貢献します。



## JUON NETWORK 「ミッション・ビジョン・バリュー」

### ミッション (JUON NETWORKが果たすべき社会的使命)

都市と農山漁村が支え合うネットワークを  
森林などをめぐる体験・交流・応援の活動によってひろげ、  
持続可能な社会を創造する。

### ビジョン (JUON NETWORKがめざす社会)

- 1) 人が、自然（森林・田畑・河川・海）を持続的に活用できる社会。
- 2) 農山漁村が、都市とともに持続的に存在できる社会。
- 3) 若者が、人と自然、都市と農山漁村をつなぐ担い手として持続的に活躍できる社会。

### バリュー (JUON NETWORKが大切にすること)

- 1) 樹木などの恩恵に感謝し、自然とのつながりを大切にする。
- 2) 農山漁村と都市の顔の見えるつながりを大切にする。
- 3) 若者の学びと成長を支え、世代間のつながりを大切にする。
- 4) NPO、協同組合、企業、学校、地域コミュニティ、行政などとのつながりを大切にする。

2021年3月までの1年を振り返り、JUON NETWORKのさまざまな活動の状況をお伝えすることが、このANNUAL REPORTの役割です。会員各位はもとより、農山漁村と都市のつながりに関心をお持ちの多くの方にご覧いただければ幸いです。そんな年報の冒頭に会長としてのご挨拶を申し上げるわけですが、原稿を準備するにあたって、年に4回発行されている会誌を改めて読み直してみました。挨拶する自分自身もこの1年を振り返ってみることが大切だと感じたからです。

言うまでもなく、コロナ禍の1年でした。影響はJUONの取り組みの数にも現れています。会誌の中ほどのページに「活動レポート」があるのですが、紹介された活動は前年比で3分の2にとどまりました。ただ、残念ながら中止になったことで、かえって現場の活動の価値が再認識されている様子も伝わってきました。もうひとつ活動の報告で印象的だったのは、この1年が仕組みのスタートとなった非常勤現場職員の皆さんからの寄稿でした。担当する地域での取り組みの様子が具体的に紹介されていて、新鮮なページとして読ませていただいた次第です。

会誌のおなじみのシリーズが、冒頭の「JUONのあの人」です。2月に発行された最新の117号は、徳島県庁や三好流域林業活性化センターなどで森林・林業に深く貢献された藤原利廣さんの出番となりました。ご承知の会員も多いかと思いますが、JUON設立を支えたという意味で、いわば恩人に登場していただいたわけです。これも周知のことかもしれませんが、藤原さんの聴き語りは昨年夏に『徳島 林政の現場に生きて～藤原利廣の軌跡～』と題した書籍として出版されています。「JUONのあの人」はそのエッセンスと申し上げてもよいでしょう。書籍の後半には、藤原さんと大学生協の出会い、そしてJUONを支えてこられた活動の原点が、多くの関係者の心温まるコメントとともに紹介されています。まさにJUONの20年の歴史を味わうことができます。

どうやら過去1年の振り返りの範囲を逸脱してしまっただようです。このあたりでご挨拶を結びたいと思います。今後とも会員各位から、さらにはJUONの活動に物心両面でご支援、ご協力をいただいている企業や組織の皆さんから、積極的なご提案や忌憚のないご意見をいただくことができれば幸いです。よろしくご意見申し上げます。



会長 生源寺 眞一  
(福島大学教授)

『徳島 林政の現場に生きて』をご希望の方は、  
「ラーニングアーバー横蔵・(有) 樹庵」までご連絡ください。  
送料含め無料にて、お送りします。  
E-mail : sammy@juann.jp  
TEL : 0585-55-2236





森林は、木材の生産・国土の保全・地球温暖化防止など多面的な機能を有しています。その森林が今、危機に瀕しています。森林の現状を多くの人に知ってもらい、国産材の利用を促すことが、今求められています。

## 森づくり体験プログラム **森林の楽校**

JUON NETWORKでは、日本の森林や林業、あるいは山村の現状を知らせ、森林を守ることの大切さを知ってもらうために、「森林の楽校」（もりのがっこう）を全国各地で開催しています。2020年度はコロナ禍の中、全国の8ヶ所で、12回開催し、学生や若者を中心に、地元の方も含み267名が参加しました。

森林の楽校では、間伐・枝打ち・下草刈りなどの体験をし、併せて農山村の地元の方たちと交流をし、その現状を実感します。

### 「森林の楽校」の開催（2020年度）

		参加回数・参加者数
①白神山地	森林の楽校（秋田県藤里町）	コロナのため中止
②会津高原	森林の楽校（福島県南会津町）	コロナのため中止
③水源の森	自然ふれあい楽習（群馬県みなかみ町）	コロナのため中止
④霧の高原	森林の楽校（群馬県昭和村）	1回（2回中止）・18名
⑤神の泉	森林の楽校（埼玉県神川町）	1回（2回中止）・20名
⑥多摩の奥	森林の楽校（東京都奥多摩町）	コロナのため中止
⑦トキの島	森林の楽校（新潟県佐渡市）	コロナのため中止
⑧そばの里	森林の楽校（富山県南砺市）	3回・91名（参加者県内限定）
⑨安曇野	森林の楽校（長野県安曇野市）	コロナのため中止（2回中止）
⑩風の谷	森林の楽校（岐阜県揖斐川町）	4回・53名
⑪南伊勢のみかん	森林の楽校（三重県南伊勢町）	コロナのため中止
⑫キノコの森	森林の楽校（京都府亀岡市）	1回・10名
⑬清流の森	森林の楽校（兵庫県宍粟市）	1回・23名
⑭四国のへそ	森林の楽校（徳島県三好市）	コロナのため中止
⑮さぬきの森	森林の楽校（香川県さぬき市）	1回・40名
⑯四万十川	森林の楽校（高知県四万十市）	コロナのため中止
⑰つばきの里	森林の楽校（佐賀県鳥栖市・長崎県長崎市）	1回・12名

合計12回・267名  
(コロナによる中止12回)

### 参加者より



初日は、秋晴れ。下草刈りの作業は草刈り機を使って行い、それぞれが黙々と作業を進めます。森にこだまする機械の音が気持ちよく感じる一時でした。宿泊所の民宿「中の屋」さんの美味しい郷土料理を堪能。2日目は、地域の方々と一緒に草刈り。法面の作業はそれなりにしんどいですが、充実した機会を作っていただきました。  
(そばの里 森林の楽校)



最初にスタッフの方が懇切丁寧に説明され、作業に。伐ったヒノキの切り口の香りに癒されました。夜に頂いた窯で焼くピザや炭火を囲んでの夕食と栗など、月を眺めながら秋の夜も心地よかったです。2日目は、1人で歩くのでは気づけない世界を見ることができた森林セラピーでした。間伐だけでなく里山を楽しめる学びの時間を過ごせました。  
(清流の森 森林の楽校)



普段の生活は森林とかけ離れており、娘には森に触れる体験をさせたい思いがありました。【娘さん（小1）の感想】きのかわをめぐったら、つるつるできもちよかったです。水あそびの川がふかかったので、ながぐつに水がはいってたのしかったです。わたしは、わたしのおうちからみえる森がいつもぐちゃぐちゃなので、木をきってあげたいです。  
(さぬきの森 森林の楽校)



森林保全を実際に形あるものにするためには、一定のフィールドにおける継続的な取り組みと、それに自主的に関わり、主体的に森づくりを担う人材の育成が不可欠です。

## 体験からリーダーへ 森づくりを担う人材の育成

### 森林ボランティア青年リーダー養成講座

「森林の楽校」などで得た森林保全や森林作業への関心をいっそう育み、作業スキルの向上を図るために、東京、関西、四国にて、それぞれ年1回「森林ボランティア青年リーダー養成講座」を実施してきました。

in 東京



東京では第22期となり、11月から翌年3月にかけて6日間で実施し、9名の参加がありました。

in 関西



関西（京都・兵庫）では第14期となり、9月から翌年3月にかけて6日間で実施し、7名の参加がありました。

in 四国



四国（徳島・香川）では第4期となり、9月から翌年1月にかけて6日間で実施し、3名の参加がありました。

### 資格検定制度 エコサーバー

JUON NETWORK では、環境や自然体験活動を主な内容とした資格検定試験である「エコサーバー」を実施しています。サポーターコース、リーダーコース、シニアリーダーコース、コーディネーターがあり、2020年度は、リーダーコースとシニアリーダーコースを実施しました。

CONE（自然体験活動推進協議会）に参加し、森林ボランティア青年リーダー養成講座と連動させています。



### 定期的な森づくりに取り組む ヤングジュオン

「森林ボランティア青年リーダー養成講座」の卒業生を中心に「東京ヤングジュオン」、「関西ヤングジュオン」、「四国ヤングジュオン」が、継続して森づくりに取り組んでいます。

「東京ヤングジュオン」では、東京都奥多摩町の「鳩ノ巣フィールド」を拠点に、月1回の定例活動を続けており（2020年度はコロナのため1回のみ）、「多摩の奥 森林の楽校」の運営も行っています（2020年度はコロナのため中止）。また、他団体と共に「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」へも参加しています。なお、「地域密着チーム」などチームに分かれた有志活動も行っています。

「関西ヤングジュオン」では、「清流の森 森林の楽校」と「キノコの森 森林の楽校」の運営を行っています。また、月1回の「青春自然塾」や「中坪・里山整備」などに参加しています。有志活動として、中坪の「高田ハウス」を活用した地域活動を15回行いました。

「四国ヤングジュオン」では、「さめきの森 森林の楽校」の運営を行いました。







JUON NETWORK が「森林の楽校」やヤングジュオンの活動などで積み上げてきたノウハウを、企業や生協の森づくり、所属する職員へのボランティア活動の場の提供などに活かしています。

## 企業の森づくり活動への協力

下記の企業や団体への協力はしていますが、今年はコロナのため、ほとんど実施できませんでした。

### 太陽生命保険株式会社

栃木県那須塩原市にある「太陽生命の森林」にて、森づくり活動の協力や関連する企画のお手伝いをしています。

### 株式会社アールシーコア（BESSフォレストクラブ）

東京都青梅市の「青梅の森」での活動を支援しています。

### NECグループ労働組合連合会

日本各地での森づくり活動の受け入れをしています。今年度はオンラインでの活動を実施しました。

### 公益財団法人 三菱UFJ環境財団

1999年から、群馬県みなかみ町で、「森林の楽校」としては2番目に古い「水源の森 自然ふれあい楽習」を共催しています。

### 株式会社チョイスホテルズジャパン（コンフォートホテル）

2017年度より支援をいただいております、社員の森林体験に協力しています。

### 株式会社熊谷組

今年度より支援をいただいております、社員の森林体験に協力しています。

## 生協の森づくり活動への協力

### コープみらい 秩父の森



コープみらいが所有する「秩父の森」は2007年度より協力しており、2020年度はイベントや企画、ボランティア体験講座などの活動は、コロナのため中止となりましたが、保全活動は11回行いました。

### パルシステム東京



パルシステム東京が所有する「いなぎめぐみの里山」での、里山整備に協力しています。2020年度は、コロナのため、12月の竹林整備のみとなりました。

### コープみらい 八街の森

コープみらいが所有する千葉県の「八街の森」の調査を行い、その保全活動を実施していましたが、2020年度はコロナのため、実施できませんでした。

## 多摩の森・大自然塾「鳩ノ巣フィールド」

JUON NETWORK が事務局を担当し、コープみらいの協力の下、毎月第3日曜日に開催しています。2020年度は、コロナのため、28名（昨年333名）の参加に留まりました。



今、日本の森林は資源としての木が育ち、収穫期を迎えています。この資源を活用し、日本の至る所で国産材を使用することが必要です。それにより、林業が栄え、地方や山村に産業が生まれ、地方の創生につながります。

## 間伐と国産材利用の大切さを伝える 樹恩割り箸

森林の保全には、定期的な間伐などの手入れが必要であり、間伐された木が販売され林業として成り立つことも不可欠です。間伐材・国産材の「樹恩割り箸」は、それらのことを、学生をはじめ多くの方たちに伝えるために生まれました。2020年度の利用は、コロナの影響で大幅に減り、922万膳（昨年1,193万膳）となりました。

### 全国の大学生協の食堂で利用されています

樹恩割り箸は、1998年開始時は116万膳の生産でしたが、その後利用が順調に増え、2016年度には1400万膳となりました。その大半は大学生協が占めています。

大学生協では、食堂での利用のほか、数多く販売される弁当にも付けられ、これからの時代を担う多くの学生たちに間伐の必要性和国産材の利用の大切さを伝えています。

### 緑提灯店でも樹恩割り箸を利用しています

緑提灯店は、お店の全メニューのうちカロリーベースで50%以上の国産食材を使用している「地場産品を応援しているお店」で、そのシンボルとして緑の提灯を掲げています。これらのお店でも国産材を使用している樹恩割り箸を使用しています。

#### 樹恩割り箸を使用している緑提灯店（2020年度）

- ◆北海道東北地域  
ラーメン札幌一粒庵  
※飲食店もコロナの影響を大きく受け、割り箸の利用が減っています。
- ◆関東甲信越地域  
居酒屋山路
- ◆東海北陸地域  
レストラン樹庵
- ◆関西中国地域  
にしわき鮮魚店

### 徳島県三好市の全ての小・中学校の給食で、樹恩割り箸を採用

徳島県三好市では、三好市内の全ての小・中学校の給食時に樹恩割り箸を全面的に採用することを決め、2021年4月より利用を開始しました。常時利用されると年間100ケース（完封箸で30万膳）ほど利用される見込みです。

大学の食堂で利用されていることでも信頼され、今回の採用につながりました。地元三好市で樹恩割り箸を生産している「セルフ箸蔵」では、小中学生に間伐や森林保全を伝える意義を踏まえ、他の地域での給食での樹恩割り箸普及を考えています。



### 樹恩割り箸は、すべて福祉施設で製造されています

障害者にとって、仕事を持って働くことが生きがいにつながります。樹恩割り箸は、全国5ヶ所の知的障害を持つ方が利用する福祉施設で生産されています。箸の生産に携わることにより、給与のアップや日々の生活の中でのモチベーションにつながっています。

#### ◎樹恩割り箸を生産している福祉施設

あたご共同作業所（福島県南会津町）、エルシーヌ藤ヶ丘（群馬県桐生市）  
江南愛の家（埼玉県熊谷市）、山の子の家（東京都日の出町）  
セルフ箸蔵（徳島県三好市）

#### 障害者が森や環境を守る手伝い出来る

「障害者は何かをしようとする時に支援が必要な場合があるが、この事業では障害者が森や環境を守る手伝い出来る。」これが、樹恩割り箸を生産する障害者や職員の拠り所です。従事する障害者は、日々自分の仕事に誇りを持ってその生産に取り組んでいます。

林業関係者の「森林を守りたい」「地域を活性化したい」という気持ちと、福祉関係者の「福祉への関心を深めてもらいたい」「障害者に誇りをもって仕事をしてもらいたい」、この思いが林業と福祉の連携という、先進的な取り組みとなりました。





# 都市と農山漁村を結ぶ

JUON NETWORK は設立当初より、農山漁村と都市を結び、環境の保全改良・地方文化の発掘と普及・都市住民の余暇活動の提供・過疎過密の問題の解決に取り組み、自然環境の保全・過疎地への対応・発掘などの活動を、ボランティアによる全国ネットワークで進めています。



## 寝食を共にして農業を応援 **田畑の楽校**

農村において高齢化や過疎化が進む中で、繁忙期などで一時的に農作業を手伝ってもらえる人手は大変助かり、精神的にも励みとなります。JUON NETWORKでは、泊りがけでの援農活動である「田畑の楽校」（はたけのがっこう）を全国4ヶ所で進めています。

### ぶどうの丘 田畑の楽校（山梨県山梨市牧丘地区）

ぶどうの産地である山梨の風土に接しながら、澤登農園でのボランティア活動を開始してから10年以上が過ぎました。2020年度は、コロナの影響で3回（参加者11名）に留まった田畑の楽校のほかに、有志の自主的な活動が年間で8日行われました。ボランティアをきっかけに山梨へと移住して、これまでに4世帯がぶどう農家となっています。



### 北信りんごの里 田畑の楽校（長野県山ノ内町）

北信五岳（飯綱山・戸隠山・黒姫山・妙高山・斑尾山）を一望できるりんご園、坂口農園をフィールドに、1泊2日（宿泊は「ラポランドくろひめ」／信濃町）で、花摘み作業（5月）→ 摘果作業（6月）→ 葉摘み作業（9月）→ 収穫・梱包作業（11月）の年4回を予定したが、コロナで全て中止となりました。



### 南伊勢のみかん 田畑の楽校（三重県南伊勢町）

三重県の南部、伊勢志摩国立公園の南玄関に位置し奥志摩として親しまれる南伊勢町は、伊勢神宮の自然林から続く豊かな森、山から海まで多彩な自然と、農村と漁村文化が混在する独自の文化が特色です。この南伊勢で、「南伊勢のみかん 田畑の楽校」が開催されています。2020年度は、11月29日のみ開催されました。



### 熊野の棚田 田畑の楽校（和歌山県那智勝浦町色川地区）

今や人口の約4割が新規定住者という全国でもめずらしい地域です。「農業」「田舎暮らし」という言葉がちよっと気になるという方に好評です。田植え、草取り、稲刈り、わらまき、畦削ぎなど棚田でのお米づくり体験ができる1泊2日の楽校です。2020年度は、年4回全て中止となりました。



## 廃校を活用したセミナーハウスなど

JUON NETWORKの設立にあたっては、廃校を活用した施設の設定や運営をしていた方たちの大きな尽力がありました。その施設のある地域は、現在でも森林の楽校を開催する拠点となっているところが少なくありません。

- ①「白神ぶなっこ教室」 秋田県藤里町
- ②「鳥越文庫」 新潟県佐渡市
- ③「Starforest 利賀」 富山県南砺市
- ④「ラーニングアーバー横蔵」 岐阜県揖斐川町
- ⑤「四万十楽舎」 高知県四万十市





# 都市と農山漁村を結ぶ



JUON NETWORKの全国ネットワークは、6つに区分けされた「地域ブロック」によって構成されています。各ブロックでは「世話人会」を中心に、森林の楽校やブロック独自の活動、会員相互の交流などを進めています。

## 各「地域ブロック」の活動

### 北海道東北地域ブロック

毎年秋に行われる「会津高原 森林の楽校」（福島）を中心に活動しており、地元の方との交流や、樹恩割り箸を製造している「あたご共同作業所」の見学も行っています（2020年度は中止）。

### 関東甲信越地域ブロック

2020年度は、千葉県船橋市にある「飯島農園」で、野菜の収穫体験や竹林整備を行いました。毎月一回の開催を目標に、計8回開催し、延べ97名の参加がありました。

### 東海北陸地域ブロック

「風の谷 森林の楽校」（岐阜）と「そばの里 森林の楽校」（富山）を中心に活動しています。また、地域の様々な企画に協力しています。

### 関西中国地域ブロック

「キノコの森 森林の楽校」（京都）と「清流の森 森林の楽校」（兵庫）を開催し、2020年度の企画は中止が多かったですが、中坪地区（兵庫・宍粟市）での活動を進めました。

### 四国地域ブロック

徳島では、「森林の楽校」と「樹恩割り箸」の発祥の地として、現在もこの2つを中心に活動しています。香川では、森林の楽校のほか、「香川会」として独自の活動を進めており、2020年度も「さぬきの森 森林の楽校」と「森林ボランティア青年リーダー養成講座」を行いました。

### 九州地域ブロック

毎年開催している「つばきの里 森林の楽校」（佐賀・長崎）を中心に活動しており、大学生協の学生や職員と地元の方の協力が進んでいます（2020年度は中止）。



### 地域の拠点づくりを目指す 高田ハウス

長年「清流の森 森林の楽校」を開催してきた兵庫県宍粟市一宮町・中坪地区において、空家である古民家をお借りし、活動の拠点としています。

活動の際の宿泊場所として、また、地域住民との恒常的な交流の場として活用して、5年が過ぎました。



# コロナ禍での JUON NETWORK の活動

2020 年度(2020 年 4 月～2021 年 3 月)は、コロナで始まりコロナに振り回された年となり、それはまだ終結が見通せません。今年度 1 年間の JUON の活動への影響と、そんな中でも前へと進めた活動を紹介します。

## 半減した楽校の開催・オンライン開催の活用

### コロナに影響を受けた主な活動

#### 森林の楽校

森林の楽校は、新規開催を含め本来ならば全国 17 ヶ所・24 回開催される予定が、9 ヶ所で全く開催することができず、8 ヶ所・12 回に留まり約半減しました。そのため参加者数も 375 名から 267 名に減りました。

#### 田畑の楽校

田畑の楽校は、全国 4 ヶ所で開催されていますが、2 ヶ所では全く開催されず、かろうじて他の 2 ヶ所で 1 回のみ開催。16 回開催される予定が 2 回しか開催できず、参加者は 13 名となりました。

#### 企業や生協の森づくり活動への協力

企業の森づくりへの協力は、具体的な日程を予定していた 6 ヶ所での活動が中止となりました。なお、代替りのオンラインでの活動を 1 回実施することができました。

生協の森づくりへの協力では、「親子自然体験教室」などの生協の組合員向けのイベントは全て中止となり、事務局中心の保全活動に限定せざるを得ませんでした。

#### 地域ブロックの活動

全国 6 地域ブロックに分かれている地域の活動では、全く活動ができなかったブロックが 2 地域(北海道東北・九州)あり、ブロック全体での活動はできず限られたエリアでの活動のみが 1 地域(四国)ありました。他の 3 地域での活動でも、恒例のレクリエーションや懇親企画はほぼ中止となりました。

#### 樹恩割り箸

樹恩割り箸の売り上げは、利用の大部分を占める大学生協での利用が激減し、2019 年度 1,193 万膳が 922 万膳(22.7% 減)となりました。そのため、福祉施設では利用者さん(障害者)の工賃を下げざるを得ない状況や、箸を生産する時間をウォーキングに充てるなどの事態になっています。

### 進むオンラインでの活動など

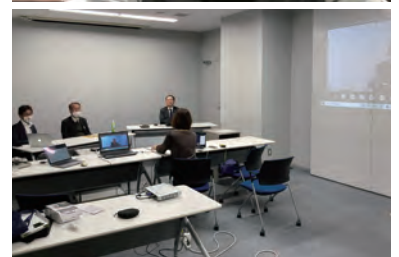
#### オンラインボランティアプログラム「雲の上 森林の楽校」

森林の楽校が相次ぎ中止となる中で、トライアル企画として、オンラインの森林の楽校を 3 月 27 日に開催しました。2 ヶ所の森林の楽校、徳島・セルブ箸蔵から樹恩割り箸の製造工程を紹介していただいた上で、コロナ禍で落ち込んだ樹恩割り箸を広げる方法を提案いただきました。参加者からは、「現地の話が聞け、もっと見てみたい!」との感想もいただいています。



#### 恒例の「報告会」をオンラインで開催

毎年秋に開催している団体会員などを対象とした「JUON NETWORK 報告会」を、2020 年度はオンラインで、11 月 13 日に開催しました。冒頭の林野庁からのご挨拶、新たな支援をいただいている株式会社熊谷組からのご報告、コープみらいからの取組紹介、「北信りんごの里」の報告を、オンラインの強みを活かして行っていただきました。



#### 広々とした畑で農業体験を毎月実施 関東甲信越地域ブロック

毎年恒例であった新年会・「カキ!フェスタ」・「森と酒のがっこう」などが開催できない中で、十分なコロナ対策をとった上で、千葉県船橋市の飯島農園にて、7 月より毎月第 1 日曜日に、農業体験を実施しました。枝豆やオクラの収穫体験や隣接する竹林の整備を行い、毎回 10 人前後の参加がありました。





# JUON NETWORKの概要と運営

ゼロから出発したJUON NETWORKは、設立から23年となり、多くのボランティアや団体会員の皆さまのご尽力によって、安定した組織運営と財政を実現しています。

## JUON NETWORKの概要

- ◆名称 認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK
- ◆代表 会長 生源寺眞一
- ◆設立 1998年 4月27日 徳島県池田町（現・三好市）にて設立総会  
1999年11月25日 特定非営利活動法人格を取得  
2011年 6月 1日 認定特定非営利活動法人に認定
- ◆機関 最高議決機関＝総会 その他＝理事会（年3～4回）・常任理事会（年4回）
- ◆会員 個人会員430名・学生会員18名・家族会員17名・団体会員97団体（2020年度末現在）
- ◆会計 経常収益2,389万円－経常費用1,878万円 20年度経常増額＝508万円（2020年4月1日～2021年3月31日）
- ◆年度 4月1日～翌年3月31日

### 活動計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで  
(単位：円)

科目	2020年度
I 経常収益	
1 受取会費	8,418,000
2 受取寄付金	11,442,888
3 受取助成金等	1,823,270
4 事業収益	2,192,206
5 その他の収益	10,260
経常収益計	23,886,624
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	9,534,471
(2) その他経費	5,540,697
2. 管理費	
(1) 人件費	2,323,758
(2) その他経費	1,380,532
経常費用計	18,779,458
III 経常外収益	
経常外収益計	0
IV 経常外費用	
経常外費用計	31,185
当期正味財産増減額	5,075,981
前期繰越正味財産額	51,526,370
次期繰越正味財産額	56,602,351

### 理事・監事

#### 2021年度 役員一覧

##### 会長

生源寺眞一（福島大学教授）

##### 副会長

小林 正美（有限会社樹庵代表取締役）

中森 一朗（全国大学生生活協同組合連合会専務理事）

##### 常任理事

大本 隆史（全国大学生協共済生活協同組合連合会専務補佐）

千葉 樹（全国大学生生活協同組合連合会執行役員・学生委員）

澤登 浩二（澤登農園）

##### 理事

浅沼 由紀（関西中国地域ブロック世話人）

足本 裕子（一般社団法人文化遺産を未来につなぐ森づくり会議事務局長）

伊藤 裕紀（生活協同組合コープみらい執行役員・東京都本部長）

鹿住 貴之（認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK 事務局長）

五島 章夫（元社会福祉法人池田博愛会セルフ箸蔵施設長）

佐藤 敦紀（大学生協事業連合常務理事）

佐藤 敬一（東京農工大学准教授）

佐藤 宗治（鹿児島大学名誉教授）

重元 勝（コーディネイト研究所代表）

田中 康治（宮城教育大学生生活協同組合専務理事）

玉中 健太（株式会社山弘社員）

長本 朝子（四国地域ブロック香川会代表）

藤田 和則（富山大学生生活協同組合専務理事スタッフ）

渡部 孝二（特定非営利活動法人あたご理事長）

##### 監事

川上仙太郎（社会福祉法人起生会評議員）

佐藤 智之（大学生協事業連合常勤監事）

柳田 章（全国大学生生活協同組合連合会管理部長）

# 会誌 (5月、8月、11月、2月発行)



# 割り箸ポスター



## JUON NETWORKへの支援

JUON NETWORK がより充実した活動を展開するために、一層の活動資金を必要としています。今後も、JUON NETWORK への物心両面のご支援をお願いいたします。

## 団体会員の皆さま (2021年5月1日現在/順不同)

### 一般企業 (15)

- (株) アイアンドアイサービス
- (株) アティーナ
- (株) 光陽メディア
- (株) コープリビングサービス
- (株) 秀英
- (株) ダンクソフト
- (株) フォレストノーツ
- (株) 山城もくもく
- (株) ラボランド
- 共栄火災海上保険 (株)
- 新日本管財 (株)
- 太陽生命保険 (株)
- グッドウィル・サークル友の会
- 北陸コカ・コーラボトリング (株)
- ヤマキ醸造 (株)
- (有) 樹庵

- NPO 法人 グリーンツーリズムとやま
- NPO 法人 トチギ環境未来基地
- NPO 法人 日本の竹ファンクラブ
- (一社) 西土佐環境・文化センター
- 四十万楽舎
- (一社) 全国直販流通協会
- おくたま海沢ふれあい農園
- 沢登農園

### 行政・組合など (8)

- 三好市役所
- 南伊勢町水産農林課
- 吉野川 (三好) 流域林業活性化センター
- 全国森林組合連合会
- 三好西部森林組合
- NECグループ労働組合連合会
- 全国大学生協連 事務局労働組合
- 日本労働者協同組合連合会

### 地域生協など (4)

- コープみらい
- とくしま生協
- 東京都生活協同組合連合会
- 日本生活協同組合連合会

### 大学生協 (56)

- 岩手大学生協
- 山形大学生協
- 東北大学生協

- 東北学院大学生協
- 宮城教育大学生協
- 尚絅学院大学生協
- 福島大学生協
- 麻布大学生協
- 桜美林学園生協
- 慶應義塾生協
- 芝浦工業大学生協
- 電気通信大学生協
- 東京学芸大学生協
- 東京工芸大学生協
- 東京農工大学生協
- 一橋大学生協
- 明治薬科大学生協
- 和光学園生協
- 早稲田大学生協
- 大東文化学園生協
- 埼玉大学生協
- 横浜国立大学生協
- 茨城大学生協
- 宇都宮大学生協
- 群馬大学生協
- 高崎経済大学生協
- 新潟大学生協
- 東京インターカレッジコープ
- 名古屋大学生協
- 愛知大学生協
- 金沢大学生協
- 富山大学生協

- 富山県立大学生協
- 京都大学生協
- 大阪大学生協
- 近畿大学生協
- 神戸大学生協
- 関西学院大学生協
- 甲南大学生協
- 神戸市外国語大学生協
- 兵庫県立大学生協
- 岡山大学生協
- 鳥取大学生協
- 広島大学生協
- 愛媛大学生協
- 松山大学生協
- 徳島大学生協
- 大学生協 中国・四国事業連合
- 北九州市立大学生協
- 長崎大学生協
- 長崎県立大学佐世保校生協
- 宮崎大学生協
- 大学生協事業連合
- 全国大学生協共済生活協同組合連合会
- 全国大学生生活協同組合連合会

ご支援いただき、ありがとうございます!

## みなさんの会費や寄付が、JUON NETWORKの活動を支えています

JUON NETWORKの活動は、みなさんからの会費や寄付で支えられています。趣旨や活動に賛同し、ご支援いただける方のご入会やご寄付を募集しています。なお、JUON NETWORKは認定NPO法人であり、2,000円を超える寄付は、寄付金控除の対象となります。

### ○会費 (年会費)

個人会員	一般	4,000円
	学生	2,000円
	家族	2,000円
団体会員	一口	30,000円

【銀行振込】  
りそな銀行 新都心営業部 普通  
口座番号: 0528652  
名義: JUON NETWORK  
ゆうちょ銀行 〇一九 当座  
口座番号: 0026902  
口座名: JUON NETWORK

【郵便振替】  
口座番号: 00110-9-26902  
口座名: JUON NETWORK

### 【クレジット決済】

国際ブランド (VISA、MASTER) のいずれかのロゴがついていれば、ご利用可能です。



認定NPO法人 JUON NETWORK  
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協杉並会館内

TEL: 03-5307-1102 / FAX: 03-5307-1091  
E-mail: juon-office@univcoop.or.jp / URL: http://juon.or.jp